

2021年度

エコドライブ活動コンクール

優秀取組事例集



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階
交通環境対策部 TEL:03-3221-7637 FAX:03-3221-6674

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

目次

- エコドライブ活動コンクールとは 1
- コンクール概要 2
- 募集結果 3
- 表彰式 4
- 受賞者一覧(大臣賞～優良賞・審査委員長特別賞) 5
- エコドライブ優良活動認定事業者一覧 6
- 二次審査応募事業者一覧 7
- 上位受賞事業者の取組事例紹介
 - 国土交通大臣賞(事業部門)
 - 国際自動車株式会社T1 8
 - 環境大臣賞(一般部門)
 - 株式会社日産フィナンシャルサービス 10
 - 優秀賞(事業部門)
 - SBS三愛ロジスティクス株式会社 南東北支店 東北営業所 12
 - 磐城通運株式会社 14
 - 上越運送株式会社 16
 - 新潟陸運株式会社 18
 - 南信州広域タクシー有限会社 20
 - 優秀賞(一般部門)
 - さいたま市役所 22
 - 株式会社エコワスプラント 24
 - 審査委員長特別賞(ユニーク部門)
 - 一般社団法人熊本県産業資源循環協会収集運搬部会 26
- エコドライブ活動の基本的な取組事例 27
- 上位受賞事業者以外の取組事例紹介 28

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者を表彰し、その取組み内容を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動について取組内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取組むことが社員の意識向上につながります。

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります。

● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります。



審査項目	極めて優秀	優秀	標準	不十分
(1) 取組体制の整備		●		
(2) 教育の実施			●	
(3) 燃費管理	●			
(4) 活動成果		●	●	
(5) 継続実績と方策		●		
総合結果		●		

コンクール概要

- 主催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 後援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「エコドライブ普及推進協議会」

(公社)日本バス協会、(公社)全日本トラック協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車運行管理協会、(一社)全国レンタカー協会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(一財)環境優良車普及機構、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募集対象

事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
ユニーク部門	エコドライブに関する独自の取組を実施しているさまざまな主体。

- スケジュール：応募期間 2021年5月7日(金)～7月7日(水)
表彰式 2021年11月26日(金)開催の「2021年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰

- 審査：審査は審査委員会(審査委員長:大聖 泰弘 早稲田大学名誉教授)にて実施

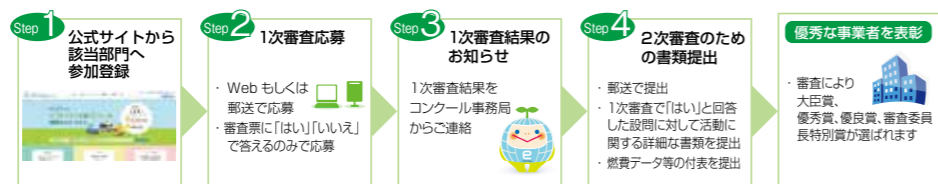
1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※ただし、ユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組を評価します。

- 表彰：国土交通大臣賞(事業部門) 1件
環境大臣賞(一般部門) 1件
優秀賞 7件
優良賞 35件
審査委員長特別賞(ユニーク部門) 1件

- 応募費用：無料

- コンクールの流れ



募集結果

● 参加数

全部門

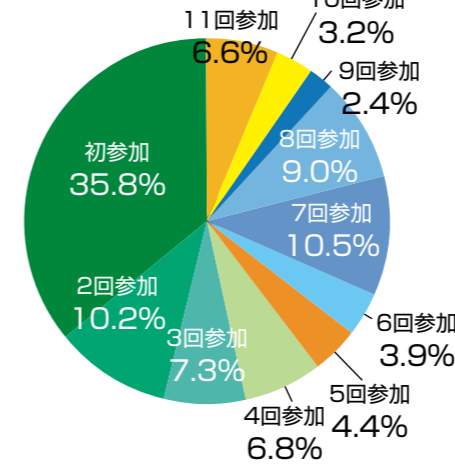
	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	413	1,431	66,137	33,782
二次審査	202	679	53,697	26,174

部門別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	376	793	42,391	29,095
一般部門	35	210	23,644	4,254
ユニーク部門	2	428	102	433

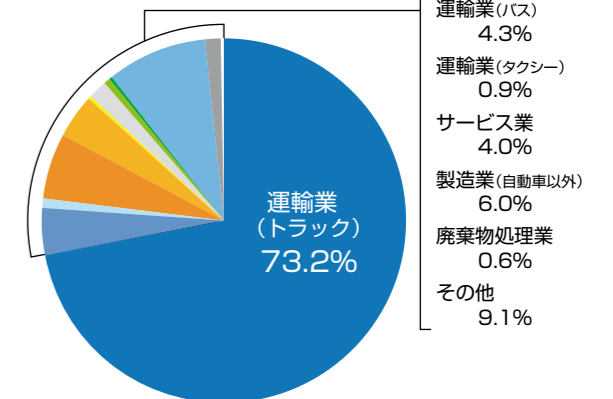
● 新規・継続応募件数割合

(ユニーク部門を除く)



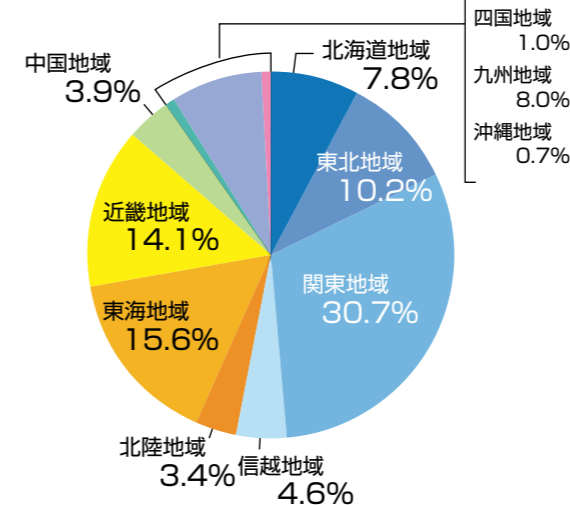
● 業種別応募件数割合

(ユニーク部門を除く)



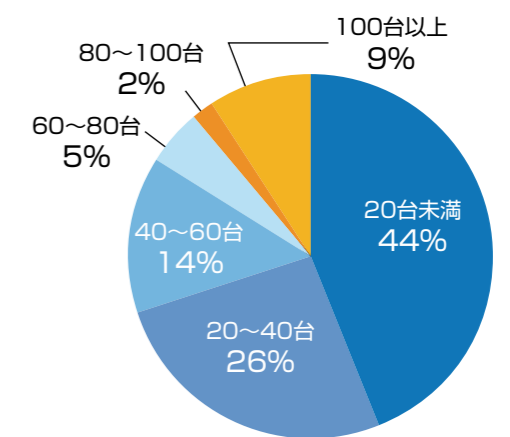
● 地域別応募件数割合

(ユニーク部門を除く)



● 車両台数別応募件数割合

(ユニーク部門を除く)



表彰式

「2021年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日時：2021年11月26日(金)13:30～16:00
 場所：千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)



前列左より (敬称略)
 早稲田大学 大聖名誉教授、環境省 水・大気環境局 飯田自動車環境対策課長、(株)日産フィナンシャルサービス 風間代表取締役社長、国際自動車(株)T1 牛久取締役社長、国土交通省 大高総合政策局次長、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 岩村会長
 後列左より
 (一社)熊本県産業資源循環協会収集運搬部会 追立副部長、(株)エコワスプラント 浅尾代表取締役、さいたま市役所 市川参事(兼)環境対策課長、SBS三愛ロジスティクス(株) 南東北支店 東北営業所 千葉営業所長、磐城通運(株) 鈴木常務取締役、上越運送(株) 梅澤専務取締役、新潟陸運(株) 土岐代表取締役社長、南信州広域タクシー(有) 鈴木代表取締役社長



表彰式(国土交通大臣賞)



表彰式(環境大臣賞)



審査講評



国際自動車(株)T1 取組紹介



(株)日産フィナンシャルサービス 取組紹介



記念楯

受賞者一覧

: グリーン経営認証取得事業所

国土交通大臣賞

国際自動車株式会社T1 (東京都)

環境大臣賞

株式会社日産フィナンシャルサービス (千葉県)

優秀賞

事業部門

SBS三愛ロジスティクス株式会社 南東北支店 東北営業所 (宮城県)
 磐城通運株式会社 (福島県)
 上越運送株式会社 (新潟県)
 新潟陸運株式会社 (新潟県)
 南信州広域タクシー有限会社 (長野県)

一般部門

さいたま市役所 (埼玉県)
 株式会社エコワスプラント (東京都)

優良賞

事業部門

株式会社エネックス 北海道支店 (北海道)	星崎運輸株式会社 富山営業所 (富山県)
株式会社丸運トランスポート札幌 本社 (北海道)	星崎運輸株式会社 金沢支店 (石川県)
株式会社エネックス 東北支店 青森営業所 (青森県)	敦賀観光バス株式会社 本社営業所 (福井県)
SBS三愛ロジスティクス株式会社 北東北支店 岩手営業所 (岩手県)	松葉倉庫運輸株式会社 本社営業所 (静岡県)
カメイ物流サービス株式会社 多賀城営業所 (宮城県)	株式会社榛南ツバタ 静岡営業所 (静岡県)
SBS三愛ロジスティクス株式会社 福島営業所 (福島県)	有限会社クリヤー梱包 本社 (愛知県)
株式会社トレンディ茨城 本社営業所 (茨城県)	平野商運株式会社 本社営業所 (愛知県)
株式会社明送 守谷営業所 (茨城県)	小西運送株式会社 本社営業所 (三重県)
ケーエルサービス東日本株式会社 茨城営業所 (茨城県)	株式会社中田商事 本社営業所 (三重県)
石原運輸株式会社 本社営業所 (栃木県)	菱化ロジテック株式会社 中部支店長浜営業所 (滋賀県)
青翔運輸株式会社 本社営業所 (埼玉県)	扇町運送株式会社 本社 (大阪府)
有限会社古川商事運輸 本社営業所 (東京都)	ニシリク株式会社 本社 (大阪府)
相川運送有限会社 本社 (東京都)	株式会社福田物流 本社営業所 (大阪府)
SBSリコーロジスティクス株式会社 輸配送二課 (東京都)	南海バス株式会社 井高野営業所 (大阪府)
平沢運輸株式会社 磯子営業所 (神奈川県)	株式会社エネックス 西日本支店 姫路営業所 (兵庫県)
有限会社サトックス 本社営業所 (神奈川県)	坪本運送株式会社 本社営業所 (奈良県)
株式会社タカセ運輸集配システム (神奈川県)	日の丸タクシー株式会社 本社営業所 (岡山県)
インペックスロジスティクス株式会社 本社営業所 (新潟県)	

審査委員長特別賞

ユニーク部門

一般社団法人熊本県産業資源循環協会収集運搬部会 (熊本県)

エコドライブ優秀活動認定事業者一覧

(都道府県順)

表彰規定により、より上位の賞でなければ連続して受賞できない事業者で、優秀賞相当の取組を継続していると評価された事業者を認定するものです。



事業部門

SBS三菱ロジスティクス株式会社 東北中央支店迫営業所	(宮城県)
茨城流通サービス株式会社	(茨城県)
F-LINE株式会社 栃木物流センター	(栃木県)
株式会社ロジバルエクスプレス	(東京都)
日本トラック株式会社	(神奈川県)
西濃運輸株式会社	(岐阜県)
東和通商株式会社	(静岡県)
有限会社裕進運輸	(三重県)

一般部門

ネットヨタ山形株式会社	(山形県)
ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社	(東京都)
DINS関西株式会社 GE事業所	(大阪府)
沖縄トヨタ自動車株式会社	(沖縄県)

エコドライブ優良活動認定事業者一覧

(都道府県順)

昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、今年度も同水準を継続している事業所および一定レベル以上の活動をしていると評価された事業所を認定するものです。



事業部門

花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所	(北海道)
SBS三菱ロジスティクス株式会社 北海道支店札幌営業所輸配送係	(北海道)
幸楽輸送株式会社 札幌事業部 札幌営業部 輸送課	(北海道)
株式会社エネックス 苫小牧営業所	(北海道)
ヤマダイ大作運輸株式会社 本社営業所	(北海道)
株式会社エネックス 東北支店 八戸営業所	(青森県)
株式会社富士興業 弘前営業所	(青森県)
三菱ロジスティクス株式会社 宮城営業所	(宮城県)
SBS三菱ロジスティクス株式会社 山形営業所	(山形県)
有限会社美松運送 本社営業所	(群馬県)
株式会社東配 本社営業所	(埼玉県)
株式会社エスティシステム 草加営業所	(埼玉県)
佐川急便株式会社 成田営業所	(千葉県)
株式会社丸運トランスポート東日本 千葉支店市原営業所	(千葉県)
東京共同ロジテム株式会社 本社営業所	(東京都)
小林運輸株式会社 本社営業所	(神奈川県)
国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	(神奈川県)
日京運輸株式会社 鶴見営業所	(神奈川県)
花王ロジスティクス株式会社 新潟ロジスティクスセンター	(新潟県)
北本運輸株式会社 本社営業所	(石川県)

平沢運輸株式会社 竜王営業所	(山梨県)
平沢運輸株式会社 飯田営業所	(長野県)
株式会社エネックス 大井川営業所	(静岡県)
株式会社ダイコー商運 本社営業所	(静岡県)
日東運送株式会社 本社営業所	(愛知県)
株式会社エネックス 中部支店	(愛知県)
株式会社オーエストラנס 本社営業所	(愛知県)
有限会社エース 三重営業所	(三重県)
株式会社ケン・トップカーゴ 本社営業所	(滋賀県)
太陽運輸株式会社 本社営業所	(滋賀県)
滋賀観光バス株式会社 長浜営業所	(滋賀県)
滋賀観光バス株式会社 八日市営業所	(滋賀県)
滋賀観光バス株式会社 甲西営業所	(滋賀県)
滋賀観光バス株式会社 京都営業所	(京都府)
滋賀観光バス株式会社 大阪営業所	(大阪府)
菱華運輸株式会社 本社	(兵庫県)
株式会社中津急行 本社営業所	(大分県)
南国輸送株式会社 鹿児島石油営業所	(鹿児島県)
内外運輸株式会社 業務管理部 西原営業所	(沖縄県)

一般部門

久屋産業株式会社 本社・第2工場	(福岡県)
株式会社トヨタレンタリース熊本 総合営業部	(熊本県)

二次審査応募事業者一覧

(都道府県順)

事業部門

株式会社エネックス 北海道支店 石狩営業所	(北海道)
北海道フーズ輸送株式会社 旭川第2物流センター	(北海道)
有限会社北海道商事	(北海道)
北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店	(北海道)
北海道中央バス株式会社	(北海道)
蜂谷運輸倉庫株式会社 卸町営業所	(宮城県)
花王ロジスティクス株式会社 仙台営業所	(宮城県)
株式会社エネックス 秋田支店	(秋田県)
株式会社エネックス 秋田支店 庄内営業所	(山形県)
高塚運送株式会社 本社営業所	(茨城県)
前山倉庫株式会社 石下営業所	(茨城県)
株式会社エネックス 関東支店鹿島営業所	(茨城県)
平沢運輸株式会社 石橋営業所	(栃木県)
ホクプロトランスポート株式会社 栃木支店	(栃木県)
株式会社福島商事 株式会社福島商事 群馬営業所	(群馬県)
神田運輸株式会社 三芳営業所	(埼玉県)
日通越運輸株式会社 児玉営業所	(埼玉県)
株式会社エス・リンク	(埼玉県)
東洋運輸株式会社 埼玉営業所	(埼玉県)
佐川急便株式会社 羽生営業所	(埼玉県)
光和輸送株式会社 本社営業所	(埼玉県)
花王ロジスティクス株式会社 岩槻営業所	(埼玉県)
株式会社新興運輸 本社	(埼玉県)
平沢運輸株式会社 千葉営業所	(千葉県)
花王ロジスティクス株式会社 沼南営業所	(千葉県)
平沢運輸株式会社 市原営業所	(千葉県)
志村興運株式会社 市川営業所	(千葉県)
株式会社エネックス 関東支店	(千葉県)
京葉ロジコ株式会社 市原営業所	(千葉県)
ドリームカーゴ株式会社 千葉営業所	(千葉県)
竹内運輸工業株式会社	(東京都)
株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	(東京都)
株式会社富士興業 本社営業所	(東京都)
株式会社平澤運送 本社営業所 車庫	(東京都)
株式会社ニヤクコーポレーション オペレーション統括グループ	(東京都)
花王ロジスティクス株式会社 八王子営業所	(東京都)
泉の交通株式会社 本社	(神奈川県)
株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	(神奈川県)
SBSリコーロジスティクス株式会社 物流センター厚木	(神奈川県)
上野輸送株式会社 本社	(神奈川県)
GBtechnology株式会社 XDC川崎	(神奈川県)
スターゼンロジスティクス株式会社川崎営業所	(神奈川県)
佐川急便株式会社 戸塚営業所	(神奈川県)
株式会社アクセル 相模原営業所	(神奈川県)
株式会社エネックス 新潟支店	(新潟県)
第三貨物自動車株式会社 本社営業所	(新潟県)
東西運輸株式会社 東港営業所	(新潟県)
TSネットワーク株式会社 新潟流通センター	(新潟県)

株式会社ヒスコム 砺波LC営業所	(富山県)
黒部モビリティサービス株式会社 交通グループ	(富山県)
のいちバス株式会社 本社営業所	(石川県)
株式会社北陸環境サービス	(石川県)
株式会社コーエイ 流通団地営業所	(山梨県)
花王ロジスティクス株式会社 更埴営業所	(長野県)
長野石油輸送株式会社 本社営業所	(長野県)
佐川急便株式会社 伊那営業所	(長野県)
佐川急便株式会社 御殿場営業所	(静岡県)
静岡石油輸送株式会社 大井川営業所	(静岡県)
SBS三菱ロジスティクス株式会社 名古屋支店 マシン物流課	(愛知県)
花王ロジスティクス株式会社 稲沢営業所	(愛知県)
星崎運輸株式会社 本社営業所	(愛知県)
株式会社エネックス 四日市営業所	(三重県)
中川運輸株式会社 本社営業所	(三重県)
株式会社多摩流通 桑名営業所	(三重県)
株式会社滋賀運送甲賀	(滋賀県)
銀鈴タクシー株式会社 本社	(京都府)
株式会社ジーエス物流 本社営業所	(京都府)
大阪トヨペットロジスティック株式会社 本社	(大阪府)
花王ロジスティクス株式会社 堺営業所	(大阪府)
株式会社エネックス 西日本支店	(大阪府)
千里バス株式会社 本社営業所	(大阪府)
日本図書館送株式会社	(大阪府)
株式会社藤急エクスプレス 東大阪営業所	(大阪府)
株式会社千里カーゴサービス 本社営業所	(大阪府)
花王ロジスティクス株式会社 尼崎営業所	(兵庫県)
株式会社エネックス 西日本支店 水島営業所	(岡山県)
日の丸タクシー株式会社 本社営業所	(岡山県)
陸照運輸株式会社 水島営業所	(岡山県)
花王ロジスティクス株式会社 岡山東センター	(岡山県)
株式会社広島トランスポート 本社営業所	(広島県)
花王ロジスティクス株式会社 広島営業所	(広島県)
花王ロジスティクス株式会社 坂出営業所	(香川県)
株式会社サンエストラテック 福岡事業所	(福岡県)
株式会社サンエストラテック 北九州事業所	(福岡県)
株式会社エネックス 西日本支店 九州営業所	(福岡県)
松藤グループ 松蔭商事株式会社	(福岡県)
株式会社サンエストラテック 大分事業所	(福岡県)
株式会社ランクルーズ 本社営業所	(福岡県)
株式会社トーカー物流 本社営業所	(福岡県)
株式会社ラント	(福岡県)
SBS三菱ロジスティクス株式会社 九州事業部 福岡支店 榎田営業所	(福岡県)
花王ロジスティクス株式会社 福岡北営業所	(福岡県)
SBS三菱ロジスティクス株式会社 九州支店 九州中央支店	(佐賀県)
有限会社長一運送	(長崎県)
株式会社共同	(熊本県)
株式会社ユタカ産業 本社営業所	(鹿児島県)

一般部門

株式会社東亜オイル興業所	(千葉県)
昭和産業株式会社	(東京都)
ダイキン工業株式会社サービス本部 中部サービス部	(愛知県)
ダイキン工業株式会社 名古屋ビル	(愛知県)
清水長金属工業株式会社	(京都府)
株式会社木村衛生 大正事業所	(大阪府)
シスメックス株式会社	(兵庫県)
株式会社メディクリーン	(福岡県)
株式会社オカノ 本社	(沖縄県)

上位受賞事業者の取組事例紹介



国際自動車株式会社 T1

所在地：東京都江東区東雲2-6-1
 業務内容：運輸業(タクシー)
 拠点数：3
 従業員数：2,056名
 車両数：957台
 活動実績：7年



環境にも人にも優しいエコドライブ活動

2013年に「ホスピタリティ・ドライビング km」という共通言語を策定し、翌2014年にエコドライブ推進委員会を発足しエコドライブ活動開始。CO2削減など環境改善のためだけでなく、**タクシードライバーに必須であるホスピタリティをアップさせる取組**としてもエコドライブ活動を活用。ドライバーが環境にも人にも優しくなる取組を実施している。

エコドライブ活動の成果

2019年度比
35.4%燃費向上 (LPG車)
 ※ハイブリッド車を含む
事故件数27.7%削減 (すべての事故)

受賞事業者の声

大変名誉ある賞を頂戴し、まずは全ドライバーへ感謝を伝えたいと思います。弊社としてはやっと念願が叶ったという心境でございます。タクシーでは初めての受賞という事で、少しでも業界のイメージアップとなれたら幸いです。これに慢心すること無く、次のエコドライブへ推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・環境方針を制定し企業活動と自然環境の調和目指していくことを明記	経営トップを環境保全責任者とした組織を整備。さらに、各営業所長がエコドライブ推進責任者を務め活動を推進
	組織・体制		社長 環境保全責任者
教育の実施	目標・計画	・環境行動計画を作成し、対昨年比3%の燃費改善を目標として設定	ドライバーの教育記録は書面だけでなく、デジタルデータとして管理
	周知・説明	・出庫点呼や帰庫点呼、毎月の集合教育にて目標や計画をドライバーに周知徹底	
燃費管理	点検・整備	・車両の点検整備は各営業所内にある工場に対応	燃費はタクシー管理システムにてデータを保存・分析
	環境問題	・SDGsに掲げられている17の目標のうち4つの目標に貢献する活動を推進	
活動成果	教育計画	・環境だけでなく急発進などを減らし、事故防止にもつながる施策として教育を実施	毎月実施する集合教育にて燃費の推移などをドライバーに共有
	教育資料	・毎月の集合教育では自社で作成した教育資料を使用しドライバー教育を実施	
継続実績と方策	教育記録	・外部セミナー	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	外部セミナー	・JAF認定エコ・アドバイザー養成講習に参加	
燃費管理	マイカー教育	・ハイブリッド車の効率の良い運転方法をマイカーで活用するよう指導	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	燃費目標	・燃費に関する定量的な目標値は車種の特徴を考慮し設定	
活動成果	燃費分析	・日々の燃費データから著しく燃費悪化がある場合はヒアリングして原因を分析	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	燃費管理	・毎月実施する集合教育にて燃費の実績をフィードバック	
継続実績と方策	教育活用	・過去の燃費データはいつでもプリントアウトできるようシステムで管理	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	過去履歴	・2019年度比で35.4%燃費向上(LPG車)※ハイブリッド車を含む	
活動成果	燃費向上	・有過失1%以上を事故として処理	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	事故管理	・環境活動の取組を外部にに向けて発信	
継続実績と方策	成果の周知	・エコドライブ活動の成果を社員に還元する社内イベントを毎年実施	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	対外活動	・2014年よりエコドライブ推進委員会を発足し活動開始	
継続実績と方策	社員評価	・ドライバーを飽きさせないよう取組内容を毎年ブラッシュアップ	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	活動実績	・グリーン経営認証は2013年3月より継続して取得	
継続実績と方策	活動見直し	・2019年11月中に全台LPGハイブリッド車に代替	燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	独自工夫		
継続実績と方策	認証登録		燃費改善目標達成者に報酬を贈るエコドライブキャンペーンを実施
	エコカー等		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

エコドライブ活動を燃費改善以上の取組に昇華

環境にも人にも優しいエコドライブ活動

2013年に「ホスピタリティ・ドライビングkm」という共通言語を制定し、タクシードライバーに必須であるホスピタリティの向上を図る目的としてもエコドライブを推進。ホスピタリティブックという社内教本を作成し、エコドライブと事故防止の意識向上と同時に優しい運転によるドライバーのホスピタリティアップに向けた教育にも注力。さらに、無事故表彰と永年表彰などの表彰制度以外に、ホスピタリティを発揮して活躍したドライバーに贈るホスピタリティアワードも実施。エコドライブとホスピタリティの意識を向上させることで、地球と人に優しいエコドライブ活動を行っている。



ホスピタリティブック

教育の実施

評価ポイント

エコドライブ支援機器などのデータを指数化し教育に活用

ホスピタリティアップに繋がる運転内容の見える化

一人ひとりの運転内容が見える化する指数を活用しドライバー教育を実施。急減速などでタクシーの乗客がビックリしたであろう回数をカウントした「おっと」という指数や、速度オーバーの回数や時間、急加減速などを評価する「優しい運転」という指数を活用しドライバーを教育。さらに、日報に記載する燃費データも管理システムに保管し「燃費管理」という内容で指数化したデータを蓄積している。それぞれ指数化したデータから急のつく操作などを減らし、優しい運転ができるよう指導することで、燃費改善やタクシー業務に大切なホスピタリティ向上させることも目指している。



指数の1つである「おっと」を減らすキャンペーン

活動成果

評価ポイント

脱炭素社会に向けた先進的な企業活動

カーボンオフセットの取組として「環境に優しい乗り場」を設置

専用の乗り場から同社のタクシーに乗車すると、CO2の排出権クレジットを購入するというカーボンオフセットの取組を実施。この活動を通じて植林や森林保護事業などに投資し、タクシー業務を行う上でどうしても発生してしまうCO2の一部を埋め合わせる活動を行うことでも地球環境に貢献。燃費改善以外のアプローチからもCO2削減や地球環境保護に取り組んでいる。



カーボンオフセットの取組

継続実績と方策

評価ポイント

地球環境のためにAI技術などを採用

CO2削減に向けたAI技術などの活用

タクシー業務での効率の悪い走行で発生するCO2を削減するため、ITやAI技術などの活用を積極的に推進。スマホを振るだけで乗車の意思を同社のタクシードライバーに知らせることができるアプリを開発し、タクシーに乗りたい人と同社のタクシーを効率的にマッチングさせることで無駄な走行を減らす取組を実施。さらに、AI技術を活用したタクシー需給の予測システムも導入。先端技術を積極的に採用し、業務を効率化することでもCO2の排出削減を目指している。



スマホアプリ「フルクル」



株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
 WBGマリヴウエスト14階
 業務内容：金融・保険業
 拠点数：1
 従業員数：729名
 車両数：172台
 活動実績：6年



テレマティクスを活用した社内外向けのエコドライブ活動

2015年よりエコドライブ活動をスタート。継続的に活動を進めていく中で、テレマティクスを活用した取組の効果が着目。エコドライブの習慣化を目的としたテレマティクスの活用を積極的に推進している。
 また、毎年開催しているカーリース顧客向け「エコ&セーフティードライブコンテスト」では、**「テレマティクス活用部門」を新設**。社内だけでなく、社外へもテレマティクスを活用したエコドライブ活動を推奨する活動も行っている。

エコドライブ活動の成果

2015年度比
16.6%燃費向上
 (ガソリン車2000cc以下)
85.3%削減
 (すべての事故)

受賞事業者の声

環境大臣賞の受賞は大変光栄な事であると同時に、身が引き締まる思いであります。日産グループの企業として「ZERO EMISSION」[ZERO FATALITY]の実現に貢献できるよう、この取り組みを社員一丸となり、さらに推進し広くお客様に普及させていきたいと考えております。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	体制・目標	・事故率、燃費を年度目標に設定し、社内に周知。結果は各部門会議などで全社に共有	点検・整備	・「社用車整備ガイドライン」にて点検・整備の方針を明記
	環境問題	教育資料	・エコドライブシンポジウムの講演資料を活用。さらに「層別」「目的別」等に分け効率的な教育を実施	教育実施	・テレマティクスデータを基に、OJT、Off-JT、自己啓発を軸に教育を実施
燃費管理	燃費管理	燃費目標	・2015年比で10%の燃費改善を目標に明記	燃費向上	・2015年度比で16.6%燃費向上(ガソリン車2000cc以下)
	事故管理	事故管理	・顧客企業向けのエコドライブ体験試乗や「セーフティードライブコンテスト」の開催	対外活動	・年度初めに「年度取り組み計画」を提示
活動成果	活動実績	エコカー等	・エコカー(EV・e-power車・軽自動車)、安全装備搭載車(緊急ブレーキ等)の積極的な導入	独自工夫	・テレマティクスの運転診断・各種検知データを分析し、組織から個人に焦点をあてた教育の実施

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 役員筆頭の推進体制とエコドライブの習慣化へのアプローチ

企業一丸となって実施するエコドライブ活動

「業務における事故から社員を守りたい」といった経営方針のもと、加害・被害、人身・物損を問わずすべての事故を対象とした事故削減を目指しており、事故の未然防止のための運転行動としてエコドライブを推進。
 全社一丸となってエコドライブ活動を推進するため、役員を筆頭に部長、次長クラスの幹部メンバーで構成されたエコドライブ推進体制を構築。月1回の定例会議では、毎月の走行データや燃費推移を展開するなど、エコドライブの進捗管理を実施。さらに、テレマティクスの点数や事故状況、燃費の推移を部署別に管理。現場のマネジメントに落としこんでいる。これにより現場でもテレマティクスの点数や動画などを共有し話題とする文化ができつつある。



エコドライブ推進体制

教育の実施

評価ポイント テレマティクスデータの徹底活用、リモート講習など先進的なエコドライブ活動

豊富なデータと経験に基づくドライバー教育

社内教育資料には、安全な運転行動がエコドライブであることを納得してもらう資料を独自に作成。エコドライブでなぜ事故が減るかを具体的に示したほか、テレマティクスから得られる自社の事故動画や危険な運転動画などを教育資料に反映し、社内ですぐに知見を蓄積し活用。
 また、継続的な活動でエコドライブが社内に定着しつつあり、総花的な講習会から、新入社員や新任管理職にターゲットを絞った講習会を行っている。さらに、オンラインを活用したリモート講習も実施。場所や時間の制約が少なくなり、受講率が向上。社内ですぐに実施したリモート講習の手法を顧客企業へも広めている。



社内講習資料

活動成果

評価ポイント 顧客企業へのエコドライブ波及効果のある取組を実施

顧客向けコンテストに「テレマティクス活用部門」を新設

カーリース契約の顧客向けに毎年開催している「エコ&セーフティードライブコンテスト」にて、テレマティクス活用部門を新設。顧客企業を巻き込んだ取組でテレマティクス活用を積極的に推進することで、社外にも効果的なエコドライブの取組方法を広めている。
 エコドライブの実施度合いをテレマティクス機器によって点数化し、目標設定に利用することを顧客企業に推奨。テレマティクス機器の導入だけに注力するのではなく、効果的な活用方法など、当社で蓄積したノウハウを広く顧客企業へ公開し、顧客のエコドライブ・事故削減を推進している。



テレマティクス活用部門

活動成果

評価ポイント エコドライブの習慣化に関する分析とその結果の波及活動

テレマティクスを活用したエコドライブの論文を発表

今までの活動の成果からエコドライブと事故削減の学術的なアプローチとして、論文「テレマティクスを活用した『エコドライブ+法令順守』の習慣化」を作成。日本交通心理学会にて発表することで、テレマティクスを活用したエコドライブの推進が事故削減に成果をもたらすことを学会会員へ訴えた。
 この論文は大手自動車教習所のコラムに取り上げられるなど、更なるエコドライブ普及に向けて影響を与えている。



論文「テレマティクスを活用した『エコドライブ+法令順守』の習慣化」



SBS 三愛ロジスティクス株式会社 南東北支店 東北営業所

所在地：宮城県柴田郡柴田町中名生神明堂1-1
 業務内容：運輸業(トラック)、倉庫業(保管)
 拠点数：1
 従業員数：28名
 車両数：7台
 活動実績：13年



データ活用による活動のレベルアップ

2008年より、SBSリコーロジスティクスグループのCSR方針の下エコドライブ活動を推進。デジタルタコグラフの機能を活用し、予知運転、滑らか運転、惰性運転によるエネルギーロスの少ない運転行動を指数化するなど、データを活用したドライバー評価や目標設定で実施。また、**分析した運転データをドライバーにフィードバックする仕組み**を整えるなど、データ活用により活動のレベルを高めている。

エコドライブ活動の成果

2014年度比
14.5%燃費向上
(中型ディーゼル車)
無事故達成
(すべての事故)

受賞事業者の声

弊営業所ではエコドライブ活動コンクールにおいて2度目の優秀賞の受賞となります。今後もエコドライブ活動を推進しサステナブルな社会活動の継続、更なる高みを目指します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・SBSリコーロジスティクスグループのCSR方針の下活動を推進	毎月実施するドライバーミーティングや掲示物などで年間目標などを周知徹底
	組織・体制	・本社事業統括課が全社的な活動を管理しエコドライブを推進	
教育の実施	目標・計画	・燃費目標として対前年比1%向上を設定	
	周知・説明		
燃費管理	点検・整備	・点検予定表を掲示することで担当車両がいつ点検に入るか把握	
	環境問題	・全従業員に「環境ポケットブック」を配布し、職場ミーティングの際の唱和	エコドライブのコツなどを記載した資料を社内掲示板に月替わりで掲示
活動成果	教育計画	・環境活動計画書を作成し、年間のエコドライブ活動のスケジュールを決定	
	教育資料		
継続実績と方策	教育記録	・教育実施記録を作成し、ドライバーの感想や意見なども回収	デジタルタコグラフの機能で燃費データを一元管理
	外部セミナー	・トラックメーカーが主催するエコドライブ研修会に参加	
燃費管理	マイカー教育	・e-ラーニングでマイカーにおけるエコドライブ教育を実施	掲示板上に燃費データをグラフ化した資料を掲示しドライバーに周知
	燃費目標	・前年比1%以上の改善を目標とし車両ごとの燃費目標を設定	
活動成果	燃費分析	・営業所ごとの運行評価表を比較し、エコドライブ活動の改善に活用	
	燃費向上	・2014年度比で14.5%燃費向上(中型ディーゼル車)	
継続実績と方策	燃費管理		
	燃費分析	・分析した燃費データをドライバーミーティングでドライバーに周知	
活動成果	過去履歴	・2008年から車両別とドライバー別の燃費データを記録	
	燃費向上	・2008年より活動開始	
継続実績と方策	事故管理	・件数と費用の推移を記録、事故分析表を作成し要因を分析	改善提案に対する報奨制度を実施
	成果の周知		
活動成果	対外活動		
	社員評価	・提案した業務改善案に対し「いいね」が押された分、インセンティブとなる	
継続実績と方策	活動実績		
	活動見直し		
継続実績と方策	独自工夫		
	認証登録	・Gマーク、ISO14001を取得	
継続実績と方策	エコカー等	・オートクルーズコントロール装置などエコドライブ支援装置を導入	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント エコドライブ支援機器を活用しドライバーを評価・教育

細かなデータ活用による活動のレベルアップ

過去の燃費データから車両ごとの目標燃費を設定しており、前年対比で燃費傾向を分析。燃費変動の原因追究と、改善に向けた対策の考案に役立てている。また、デジタルタコグラフから収集できるデータを活用し、予知運転、滑らか運転、惰性運転によるエネルギーロスの少ない運転行動を指数化。その指数化したデータを活用しエコドライブにつながる運転行動を指導することで、確実にエコドライブ活動のレベルをアップさせている。



デジタルタコグラフから取得できるデータ活用

教育の実施

評価ポイント 収集・分析したデータをドライバー教育に活用する取組体制を構築

分析した運転データをドライバーひとり一人にフィードバック

デジタルタコグラフの機能を活用し収集・分析したデータを、月に1回実施するドライバーミーティングでドライバーにフィードバック。その際、燃費が良いドライバーと悪いドライバーの差を比較することで、営業所全体のエコドライブの技術がアップするように工夫している。また、2021年度はコロナ禍の影響により、リモート環境によるドライバー教育も実施。より少人数化したことから、きめ細やかな指導が実施可能となった。



ドライバーミーティング

燃費管理

評価ポイント データ活用や成果の周知でドライバーのモチベーションをアップ

社内認定制度やドライバーランキングなどで取組を活性化

収集したドライバーの運転データからドライバーランキングを作成。ドライバー同士が切磋琢磨して活動に取り組み、燃費改善していけるよう工夫している。また、ドライバーの取組を評価する仕組みとして物流プロ認定制度を策定。安全運転やエコドライブに関する運転技術・指導技術などを評価。モチベーションを向上させつつ活動がレベルアップしていくよう仕組化。メールや社内報などで社外研修や、エコドライブ活動の成果を社内に周知することでモチベーションをアップさせている。



ドライバーランキング

継続実績と方策

評価ポイント 環境や安全を重視した企業運営

メーカーを絞ることなく環境性能の高い車両を導入

新しく車両を購入する際は複数のメーカーの車両を比較し、環境性能や安全性能が高い車両を選んで導入している。燃費が良くCO2削減が期待できる車両をメーカーを絞らずに導入することで結果的に車両メーカーを競わせている。ドライバーの努力だけでCO2削減を進めるのではなく、会社や社会全体として地球環境のために何ができるかを考えて活動を推進する体制・文化が根付いている。



導入車両



磐城通運株式会社

所在地：福島県いわき市平字十五丁目21番地
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：7
 従業員数：287名
 車両数：222台
 活動実績：15年



各拠点が自律自走で進める活動を全社組織が支援

2005年よりエコドライブ活動をスタートし、環境方針の設定及び全社的な組織「環境問題対策委員会」を設立。推進の主体は各拠点としつつも、全体的な環境問題・エコドライブ教育のため職場巡回ドライバー・ミーティングを実施。
 また、**拠点对抗エコドライブ・コンテスト**を開催し、各拠点の競争によるエコドライブ活動の活性化を図っている。

エコドライブ活動の成果

2004年度比

**19.6%燃費向上
(大型ディーゼル車)
無事故達成
(重大事故)**

受賞事業者の声

今回は全社での受賞となりました。今後も、環境と安全の取組のレベルアップを図ってまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<p>理念・方針：環境方針を元にエコドライブ活動を推進</p> <p>組織・体制：環境問題対策委員会組織に基づき活動、各拠点にも推進責任者を配置</p> <p>目標・計画：環境行動計画にて計画と達成時期を設定、年間を通じて計画を策定</p> <p>周知・説明：エコドライブ推進12項目の配布、朝礼での唱和により周知</p> <p>点検・整備：車両不具合時に点検整備連絡シートを使用して迅速に対応</p>
教育の実施	<p>環境問題：社内に環境問題のポスター掲示、巡回ドライバー・ミーティングによる教育</p> <p>教育計画：環境行動計画の中でエコドライブ講習の回数、時期を計画</p> <p>教育資料：社内作成資料と各団体の資料を併用</p> <p>教育記録：教育記録は議事録と合わせて写真も保管</p> <p>外部セミナー：エコドライブ体験講習会・職場巡回ドライバー・ミーティングを開催</p> <p>マイカー教育：教育資料、ポスター、チェックシートを活用</p>
燃費管理	<p>燃費目標：各拠点、車種ごとに燃費目標を設定</p> <p>燃費管理：車両自主管理表にて管理</p> <p>燃費分析：独自システムで燃費を管理、燃料使用量や金銭管理も実施</p> <p>教育活用：車両別の実績表と燃費グラフを掲示</p> <p>過去履歴：2005年度よりすべての車両の燃費データを保管</p>
活動成果	<p>燃費向上：2004年度比で19.6%燃費向上(大型ディーゼル車)</p> <p>事故管理：走行100万キロあたりの事故件数推移で件数の減少を把握</p> <p>成果の周知：事業所内ミーティング、掲示、回覧により周知徹底</p> <p>対外活動：福島議定書へ全事業所で参加、環境教育サポート団体に登録</p> <p>社員評価：毎年10月にエコドライブ・コンテストを実施、優秀者に表彰</p>
継続実績と方策	<p>活動実績：2005年7月より活動開始</p> <p>活動見直し：グリーン経営取組状況評価によって、次年度の目標及び計画を見直し</p> <p>独自工夫：エコドライブ推進会議や職場巡回ドライバー・ミーティングを実施</p> <p>認証登録：グリーン経営認証を継続して取得</p> <p>エコカー等：機材の設置や、最新規制適合ディーゼル車を計画的に導入</p>

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント：各支店・営業所が主体となって活動を推進

各拠点が主体性を持って活動するため推進責任者を配置

磐城通運では全社的な組織として環境問題対策委員会を設置し、委員会の役割や役割それぞれの業務分担を明文化している。
 特に環境問題対策委員会の推進責任者には、平支店、小名浜支店、湯本支店、植田支店、小名浜製錬営業所、火力営業所、自動車整備工場のそれぞれトップを任命。各拠点で発生した環境問題への処置を委員会へ要望する権限を持ち、全社的な組織としてのトップダウンではなく、各拠点ごとに工夫してエコドライブ活動を推進できる体制を構築している。



環境問題対策委員会

教育の実施

評価ポイント：事務局による教育で各拠点の足並みを揃え活動を推進

座学と実技講習によるエコドライブ教育の実施

エコドライブ活動の推進は各拠点に任せながらも、全体的な環境問題に関する意識の醸成やエコドライブのレベルアップは本社が支援。
 環境問題対策委員会の事務局による職場巡回ドライバー・ミーティングで、現場のドライバーとコミュニケーションを取りながら教育を実施。エコドライブのポイントの確認や、環境問題に関する動画を視聴する座学を行っている。また、エコドライブ教育の年間計画を立案し、ドライバーの運転技術向上につながる実技講習も取り入れている。



職場巡回ドライバー・ミーティング

活動成果

評価ポイント：各拠点ごとの競争意識でエコドライブの取組を活性化

拠点对抗のコンテスト実施と優秀事例の共有

各拠点のエコドライブ活動をより活性化させるため、競争意識を引き出す取組を実施。毎年拠点对抗エコドライブ・コンテストを開催し、競い合わせるように活動を推進することで拠点ごとに創意工夫が生まれ、活動全体のレベルを高めてきた。
 また、取組の成果として燃費を展開する際、自拠点のみでなく、他拠点の燃費推移や目標対比も同時にドライバーに共有。それぞれの拠点の取組状況を把握できるよう工夫している。さらに、拠点ごとの優秀な取組を他の事業所に共有する体制も構築を進めている。



エコドライブ・コンテスト表彰式

継続実績と方策

評価ポイント：個人が会得したノウハウを会社全体へ共有する仕組みを構築

ドライバー同士が教え合うことで活動をさらにレベルアップ

ドライバー同士で教え合う仕組みの構築には燃費データを活用。前年対比、燃費目標達成率を一目でわかるグラフにし掲示することで、ドライバー同士で走行内容を比較しながら指導する文化を醸成。
 また、実技講習に参加したドライバーは会社全体に学んだノウハウを展開。個人のレベルアップが、活動全体の発展につながる仕組みを構築している。



ドライバーで教え合う様子



上越運送株式会社

所在地：新潟県上越市頸城区西福島440番地1
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：5
 従業員数：149名
 車両数：131台
 活動実績：18年



ドライバーの主体性を重視したエコドライブ活動

自発的にエコドライブに取り組んでいたドライバーからの提案で全社的な活動をスタート。ボトムアップに主眼を置き、ドライバーの一人ひとりが自発的にエコドライブ活動に取り組める体制を構築。

その成果としてドライバーからの提案でエコドライブ支援機器を導入したり、**アイドリングストップ大作戦を実施**するなど活動のレベルアップにつながっている。

エコドライブ活動の成果

2002年度比

**13.5%燃費向上
(大型ディーゼル車)
無事故達成
(重大事故)**

受賞事業者の声

この度の受賞大変ありがとうございます。当社のエコドライブ活動も今年20年を迎えます。この歩みを緩めることなく、今後も着実に活動の歩を進めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・経営トップによる環境方針を掲げ、各部署内に掲示	全社的な組織に加え拠点ごとに推進責任者を定めている
	組織・体制		
教育の実施	目標・計画	・環境管理推進委員会にて年間の活動推進計画を策定	中部トラック研修センターへ派遣、エコドライブマスターに登録
	周知・説明	・各部署内に掲示及びホームページにて公表	
燃費管理	点検・整備	・整備管理者が日常点検等に立ち合い、意識とスキルの向上に取り組む	エコドライブ研修
	環境問題	・毎月1日発行の社内誌環境ニュースにて啓発	
活動成果	教育計画	・社員教育実施計画表を策定	運転手ごとに前年燃費比較グラフを作成、配布し教育へと活用
	教育資料	・社内で作成した資料及び、エコモ財団発行の資料を活用	
継続実績と方策	教育記録	・研修にて実施したテストの解答や感想を保管	エコドライブについて優れた運転手への表彰を実施
	外部セミナー	・マイカー通勤規定においてエコドライブ10のすすめの実践を規定	
燃費管理	燃費目標	・前年度の実績を踏まえ次年度の全社燃費目標とエコドライブ目標を策定	エコドライブマイスター設置事務所
	燃費管理	・走行管理表へ給油時に記入、本社ではデータにして管理	
活動成果	燃費分析	・各拠点別平均燃費等を毎月中旬に各拠点へフィードバック	エコドライブ表彰
	教育活用	・2002年10月からデータを保管、2004年よりグリーン経営認証取得	
継続実績と方策	過去履歴	・2002年度比で13.5%燃費向上(大型ディーゼル車)	エコドライブ表彰
	燃費向上	・本社安全指導部にて各支店別発生状況を管理	
活動成果	事故管理	・広報誌、年間の車両CO2排出量のグラフやアイドリング時間の掲示にて周知	エコドライブ表彰
	成果の周知	・グループ会社の講習会でエコドライブ活動やグリーン経営について講師を務める	
継続実績と方策	社外活動	・2003年より活動開始	エコドライブマイスター
	社員評価	・内部監査にて評価、未達項目に重点を置き目標・計画の見直しを実施	
継続実績と方策	活動実績	・経営トップによるヒアリングや機材導入等現場の意見を尊重し活動	エコドライブマイスター
	活動見直し	・低燃費かつ低排出ガス認定車を購入、保有車両の50%に	
継続実績と方策	独自工夫		エコドライブマイスター
	認証登録		
継続実績と方策	エコカー等		エコドライブマイスター

エコドライブ活動 主な応用取組

活動成果と評価

評価ポイント 2003年からの活動継続で燃費25%改善と車両修繕費86%減少を実現

エコドライブ活動の長期継続で得た結果と実績

2003年から本格的にエコドライブ活動をスタート。以降、全支店でグリーン経営認証の永年表彰登録されるなど、確実な実績を残しながらエコドライブの取組を推進。

約18年間エコドライブ活動を続けてきたことで、燃費改善や事故減少という活動成果を着実に積み重ね、活動前と比較して燃費は25%改善し、車両修繕費は86%の減少を達成した。長年のエコドライブ活動が、環境改善だけでなく企業活動におけるコストダウンにもつながっている。



燃費推移

取組体制の整備

評価ポイント ドライバーの自発的な行動を促す社内環境の整備

エコドライブ支援機材をドライバーの発案で導入

エコドライブ活動の主体はドライバーと捉え、ドライバーの自発的な取組を支援する体制を構築。その一環としてドライバーからの提案の取り入れも積極的に実施し、エコドライブ活動支援機材としてアイドリングストップクーラーを導入した。

また、燃費結果以外にもアイドリング時間、デジタルタコグラフの評価点数をグラフ化して社内に掲示。同型車両に乗務する他のドライバーとの差をデータで比較できるようにし、エコドライブについてドライバー間での情報共有や議論が起こるよう工夫。さらにドライバーが自発的にエコドライブに取り組むよう社内環境を整備している。



アイドリングストップクーラー

燃費管理

評価ポイント ドライバー自らが考えて活動することで、目標達成意識を高める

ドライバー自身で燃費を管理し、エコドライブ意識を維持

ドライバーの燃費管理ツールとして走行管理表を活用。毎運行ごとに走行距離、燃料使用量、燃費をドライバーが記入することでエコドライブ意識を維持。

月末には次月の燃費目標、当月の振り返り、次月の注意点をドライバーが記入。燃費目標の達成に向けた行動目標の明確化にも活用し、活動の成果向上に役立てている。

走行管理表

継続実績と方策

評価ポイント 燃費改善のため新しい取組にも積極的にチャレンジ

アイドリングストップ大作戦など活動に対する士気高揚

アイドリング時間の増加が課題となった際に、ドライバー発案でアイドリングストップ大作戦という社内キャンペーンを実施。

2017年からは安全大会を開催。安全目標並びにエコドライブ活動目標を従業員と共有、全社員でエコドライブの認識合わせを行う。他にも、無事故無違反チャレンジや標語コンテストによる表彰など新しい取組を積極的に採用している。



アイドリングストップ大作戦活動成果



新潟陸運株式会社

所在地：新潟県新潟市東区卸新町3丁目16番地15
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：5
 従業員数：155名
 車両数：120台
 活動実績：16年



取組体制の整備し続け、活動をレベルアップ

2005年より活動をスタート。以降、継続的なエコドライブの実践を目標に、毎月の成果の掲示や周知、優秀ドライバーの表彰、社内整備部の新設など、積極的に活動を推進していけるようエコドライブ取組体制を整備。

さらに、**燃費の目標値を車種や積荷の違いを考慮したうえで設定**するなど、ドライバーのモチベーションアップにも注力。

エコドライブ活動の成果

2009年度比
10.6%燃費向上
(大型ディーゼル車)
無事故達成
(すべての事故)

受賞事業者の声

エコドライブ活動コンクールで優秀賞を頂き、ありがとうございます。今後は、エコドライブ活動の更なる発展を追求し、社会に貢献していきたいと思っております。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・環境行動計画の中にエコドライブ活動について明記	車両整備、点検項目の基準を明確にし、掲示
	組織・体制	・エコドライブ推進体制を策定し、活動を実施	
教育の実施	目標・計画	・環境方針に沿った重点推進項目を活動目標として設定	エコドライブとコスト削減の関連性についての資料を作成し、ドライバー教育に使用
	周知・説明	・活動計画、活動目標を全従業員に周知	
燃費管理	点検・整備	・環境問題	燃費の下がったドライバーの運転日報を分析管理し、面談指導を実施
	環境問題	・自社作成の各種教育資料をドライバーに展開後、休憩室に掲示	
活動成果	教育計画	・車両活動計画をドライバー休憩室に掲示	燃費実績、燃費ランキング、事故発生件数をドライバー休憩室に貼り出し
	教育資料	・環境にやさしい運転勉強会の記録を教育記録として保管	
継続実績と方策	教育記録	・ディーラーから講師を招き、年に1~2回エコドライブ研修を社内で開催	燃費向上月間
	外部セミナー	・前年度との燃費目標実績比較一覧を毎月社内に掲示	
燃費管理	マイカー教育	・2009年より燃費データを保管	燃費向上月間
	燃費目標	・車両条件を考慮した目標を設定	
活動成果	燃費管理	・給油表にて給油毎の燃費を計算	燃費向上月間
	燃費分析	・対外活動	
継続実績と方策	燃費分析	・近隣保育園にて、作成した交通安全の絵本を配布	燃費向上月間
	教育活用	・運転に関する評価表より、改善が必要な場合は個別指導を実施	
活動成果	過去履歴	・2009年より燃費データを保管	燃費向上月間
	燃費向上	・2009年度比で10.6%燃費向上(大型ディーゼル車)	
継続実績と方策	事故管理	・修繕費の管理も行い、成果を把握	燃費向上月間
	成果の周知	・毎年3月、6月、9月を燃費向上月間に設定	
継続実績と方策	対外活動	・グリーン経営認証を取得	燃費向上月間
	社員評価	・全車両にエコタイヤを装着	
継続実績と方策	活動実績	・2005年より活動開始	燃費向上月間
	活動見直し	・月に1度、目標を見直す機会を設定	
継続実績と方策	独自工夫	・燃費向上月間	燃費向上月間
	認証登録	・燃費向上月間	
継続実績と方策	エコカー等	・燃費向上月間	燃費向上月間
	燃費向上月間	・燃費向上月間	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 車両の管理体制を自社完結することでエコドライブ活動のレベルアップ

社内整備部の新設により点検整備の質が向上

社内の車両整備体制強化を目的として車両整備部を新設し、車両の管理だけでなく整備までを実施する組織を設置。車両の整備までを自社完結することで車両特性の理解度が向上し、ドライバー教育など活動のレベルアップにもつながっている。

さらに、車両整備部よりドライバーに対し、運行前点検についての実技指導を実施。エコだけでなく安全面の向上にも大きな影響を与えている。



実技指導風景

教育の実施

評価ポイント グループごとの取組成果を共有しドライバーにフィードバック

エコドライブ活動に関するグループ長会議を実施

月に1度グループ長会議を開催し、「品質」「安全」「車両」に関する全社的な取組方針をグループ長に周知。さらに、グループごとの燃費を比較し、さらなる燃費改善に向けての施策の検討や計画の見直しなどを実施。

また、会議の内容を拠点ごとにドライバーにも共有。別グループの取組成果を各拠点の一人ひとりにまで周知することで、会社と個人が同時にレベルアップしていける仕組みを整えている。



グループ長会議

活動成果と評価

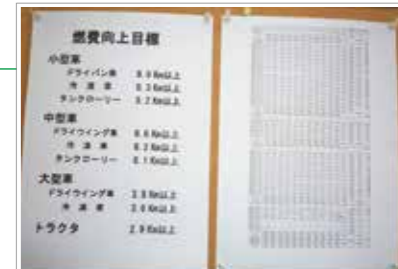
評価ポイント データ分析による達成可能な目標設定でモチベーションアップ

積荷や車両種別を細かく考慮した目標燃費設定

燃費目標は、車両管理部が積荷や車種などを考慮したうえで決定。また、車種によるギア比の違いまで計算して走行ルートを設定している。

細かなところまで徹底的に考慮し、達成可能な燃費目標を導き出すことで、ドライバーがモチベーション高く活動に取り組めるよう工夫。

また、月次の定例会議では各車両担当者の燃費結果を共有。車種別の燃費ランキングを作成し、社内に掲示することで目標達成への意識付けを行っている。



燃費目標実績一覧

継続実績と方策

評価ポイント ドライバー同士でエコドライブ意識を高めらえるコミュニケーションツール

感謝の気持ちを伝える『サンクスカード』の活用

優秀な燃費結果を残したドライバーに対し、他ドライバーなどから感謝の言葉を伝える「サンクスカード」を進呈、社内にて掲示。

自らの名前が記載された感謝の言葉が書かれたカードが贈られることで、モチベーションアップにつながりエコドライブ活動への積極的な参加の意識付けになっている。本カードは自社のオリジナルツールとして、ドライバー間のコミュニケーションを活性化させている。



サンクスカード



南信州広域タクシー有限会社

所在地：長野県飯田市上殿岡717-4
 業務内容：運輸業(タクシー)
 拠点数：1
 従業員数：83名
 車両数：68台
 活動実績：13年



地域と一緒に環境問題に取り組み、ドライバーの意識向上

2008年にエコドライブ活動を開始。以降、環境モデル都市として活動している飯田市と協力しながら、**会社として環境問題に取り組み**、ドライバーのエコドライブ意識の向上につなげている。
 また、南信州地域内では率先してタクシー車両のハイブリッド化を進めたり、地元企業と共同で車庫の屋根にソーラーパネルを設置したりするなど地域のエコ活動をけん引している。

エコドライブ活動の成果

2019年度比
11.7%燃費向上 (LPG車)
55.6%削減 (保険適用の事故)

受賞事業者の声

此度、2度目の優秀賞を受賞させて頂き、誠に有難うございます。弊社では、環境モデル都市である地域と環境問題を、取り組んで来た結果であると思っています。これからも、グリーン経営に対し、業界の模範企業を目指し、地域と社員と協力し合い進めて参りたいと思います。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した経営の具体的な取り組みとしてエコドライブを実施 各拠点到エコドライブ推進責任者(運行管理者)を設置 運輸安全マネジメントとして毎年安全やエコドライブの目標を設定 組織体制資料の掲示、集団点呼での安全・エコドライブ目標の確認 	グリーン経営の整備基準により始業前点検を実施
	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録	<ul style="list-style-type: none"> 新人研修にて環境問題に関する啓発DVDを活用 新入社員に対し、新人研修と別でエコドライブ教育を実施 エコドライブに関する資料やエコドライブ10のすすめを配布 私の「エコドライブ」宣言と教習アンケートの結果を保管 	自動車教習所でのエコドライブ講習会に参加
燃費管理	外部セミナー マイカー教育 燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	<ul style="list-style-type: none"> 教育した内容をマイカー運転時にも実行するよう啓蒙 燃費1%削減を掲げ、全体・車種別の目標燃費を毎年設定 月間燃費、対前年比、同車種間での比較を分析 月間の燃費を車両毎に集計し、集団点呼にてフィードバック 燃費データなどを車両ごとに算出、保管 	運転日報・給油燃費状況書に記入し、給油毎の燃費を把握
	燃費向上 事故管理 成果の周知 対外活動	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度比で11.7%燃費向上(LPG車) 内容、件数を管理 年間の目標達成結果を表にし社員へ展開 	飯田市環境審議委員に運輸事業者代表として選任
活動成果	社員評価 活動実績 活動見直し 独自工夫	<ul style="list-style-type: none"> 無事故・エコドライブ表彰を実施 2008年度より活動開始 監査委員会の監査結果に基づき来期の目標数値などを決定 	電気自動車を2台導入、急速充電器の設置・提供を開始
	継続実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 長野県おもてなし宣言 LPGHV車(ジャパンタクシー)を地域で初導入 	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備 | 評価ポイント: 自社のエコドライブ活動以外にも環境に関する取組に注力

広く環境問題に取り組み、ドライバーの環境意識をアップ

エコドライブ活動以外にも環境問題への取組を積極的に推進。同社の代表取締役が飯田市の脱炭素社会推進協議会の副会長を務め、地域や行政のエコ活動にも積極的に参加している。
 車庫の屋根には地元企業と共同でソーラーパネルを設置。エネルギーの地産地消を推進する活動も行っている。さらに、地域の教習所が主催する「南信州エコドライブ1000人プロジェクト」にも参加。会社として様々なエコ活動に取り組むことで、ドライバーの環境意識向上にもつながっている。



車庫の屋根のソーラーパネル

教育の実施 | 評価ポイント: 点呼を活用した効果的な行動目標の設定と確認

目標を周知徹底する仕組みでエコドライブの意識を継続

燃費を意識した運転を毎日実施できるよう、乗務前点呼では乗務日報にエコドライブ運転の行動目標を記載。そして、乗務後点検では行動目標の結果を管理者と一緒に確認することで、乗務ごとにエコドライブの振り返りと教育を実施している。
 さらに、12日に1回の集団点呼では専用の資料を配布し、燃費目標の達成状況やエコドライブのポイントなどを確認。各点呼を活用しエコドライブの目標を周知徹底することで、エコドライブの意識が継続するよう工夫しながら活動を推進している。



乗務日報と点呼風景

活動成果と評価 | 評価ポイント: エコカーやエコドライブ支援機器を積極的に導入し活用

南信州地域で最新の機器や取組を率先導入

エコカーやエコドライブ支援機器などを積極的に導入しており、タクシー業務に使用するハイブリッドLPG車も南信州地域では初期に導入。現在は燃料電池車の導入も検討している。
 また、ドライブレコーダーをエコドライブ支援機器として活用し、車載映像を使用した運転指導を実施。さらに、テレマティクス機器で取得できるデータから勤務当日の運転行動を分析し教育に活かしている。ただ機器を導入するだけでなく、エコドライブ活動に活用していくことで取組のレベルを高めている。



運転行動の分析結果と導入機材

継続実績と方策 | 評価ポイント: 少人数のグループで協力・競い合いながら活動を実施

社員一人ひとりが主体性を持ち、会社一丸となって活動を推進

ドライバーが主体的に活動に参加できるよう、集団点呼のグループ単位で意見を出し合いながら活動を推進。グループ内で協力し燃費改善に取り組むのと同時に、グループ同士では競い合う形で切磋琢磨しエコドライブの活動レベルをアップさせている。
 また、少人数のグループでエコドライブ活動に取り組むことで、一人ひとりが主体性を持って取組に参加。会社一丸となって活動を推進している。

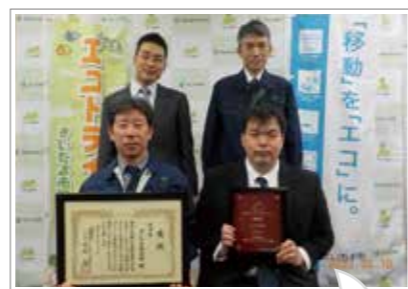


グループでの活動風景



さいたま市役所

所在地：埼玉県さいたま市浦和区常磐6-4-4
 業務内容：行政機関
 拠点数：17
 従業員数：15,659名
 車両数：1,156台
 活動実績：13年



市役所・市民・事業者が一体となって進めるエコドライブ活動

さいたま市では2005年に「さいたま市交通環境プラン」を策定し、自動車からの環境負荷の低減活動を実施。2008年にはエコドライブ取組方針を設定、本格的なエコドライブ活動の取組を開始した。

エコドライブ普及推進のため市民、事業者及び、庁内向け事業としてそれぞれ取組を実施。特に市民向けとしてはPR活動や **テレビ、ラジオ、SNSなどを活用して** エコドライブに関する情報を発信している。

エコドライブ活動の成果

2007年度比

11.8%燃費向上
 (HV2000cc以下)
事故件数66.7%削減
 (重大事故)

受賞事業者の声

エコドライブの活動を継続して行ってきたことが、「優秀賞」として評価されたので、とても光栄に思います。今後も自動車による環境負荷を低減するため、継続して取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組体制・目標	・2005年さいたま市交通環境プランをスタート、2008年エコドライブ取組方針を設定、2011年さいたま市交通環境プランを改正 ・公用車を運転する職員全員(約6,000人)が活動に取り組む体制を整備	公用車運用の手引きを定め、公用車を使用することに日常点検票により点検実施
	点検・整備		日常点検票
教育の実施	環境問題教育資料	・エコドライブ取組方針の冒頭に環境問題について啓発 ・エコドライブ取組方針及びエコドライブ実施要領を定め、職員へ周知	エコドライブ10のすすめに基づいたエコドライブチェックシートと同乗者による採点活動
	教育実施		エコドライブチェックシート
燃費管理	燃費管理燃費目標	・公用車を所管する各課所が毎月、自動車運行管理表を提出、燃費データはシステムに登録、管理している	エコドライブ取組方針にて二酸化炭素排出量35%削減を定める
	燃費向上		二酸化炭素排出量 35% OFF
活動成果	事故管理	・事故データは車両の管理部門にて管理	2007年度比で11.8%燃費向上(HV2000cc以下)
	対外活動	・市民向けエコドライブ普及として市ホームページやSNSによる普及・啓発を実施	燃費 11.8% UP
継続実績と方策	活動実績	・2008年エコドライブ取組方針を設定し、エコドライブの全庁的な取り組みをスタート	毎月22日をエコドライブの日と定め、のぼり旗を車両出入り口に設置、職員及び来庁者へ啓発
	エコカー等	・2009年度から電気自動車普及施策としてE-KIZUNA Projectを取り組む 公用車を新規導入する際は原則、次世代自動車としている	E-KIZUNA Project

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

さいたま市としてのエコドライブ推進計画を作成

三位一体(市役所・市民・事業者)で進めるエコドライブ活動

2008年4月より「さいたま市エコドライブ取組方針」を制定。職員のエコドライブを徹底し公用車の走行距離当たりの二酸化炭素排出量等集計と報告を推進している。

2011年3月より市役所として市民向け、事業者向けに取組を実施。市民向けでは自動車運転免許更新時にエコドライブを広報。事業者向けにはエコ通勤優良事業所認定推進事業を実施している。



さいたま市エコドライブ取組方針

燃費管理

評価ポイント

約6,000人の燃費データを集計分析する体制を整備

徹底した役割分担で大規模組織のエコドライブ活動を実現

公用車を保有する各課所ではドライバーが走行距離や給油量を手書きで記録し、1か月間の手書きデータを各課所の担当者が自動車運行記録表へ集約。さらに、作成された自動車運行記録表を環境部門と車両の管理部門が共同で回収し、データ分析を行うことで市役所全体の燃費やCO2排出量を計算している。

また、全車両の走行距離・給油量・燃費のデータは環境部門が管理し、燃費データは埼玉県とも共有している。

自動車運行記録管理表

活動成果

評価ポイント

地域社会に貢献するエコドライブ普及活動

市民向け・事業者向けのエコドライブ講習やキャンペーンを開催し、意識造成

市役所として事業者に向けてエコドライブ講習会などを実施し、地域へのエコドライブ推進に貢献。

また、市民向けのエコドライブの啓発活動として、市内ショッピングモールにて「タイヤチェックで燃費アップ!」イベントを埼玉県タイヤ協同組合や自動車教習所等と連携し開催している。

対面での啓発が難しい時期は、さいたま市に設置されている大型ビジョンにてエコドライブ推進の動画を上映等、地域住民のエコドライブ意識アップを図っている。



ショッピングモールでの啓発活動

継続実績と方策

評価ポイント

非対面でのエコドライブ推進活動の実施

SNSの活用など新たな取組も積極的に実施

従来の事業者や市民との対面イベント以外にも、エコドライブを普及するための新たな取組に注力。テレビやラジオでのエコドライブ実施の呼びかけや、ブログやSNSなどインターネットサービスを活用した啓発活動も実施している。

様々な手法で情報発信を行うことで、多くの市民や事業者にもエコドライブの重要性や取り組み方等を広く普及している。



さいたま市のSNSアカウント



株式会社エコワスプラント

所在地：東京都西多摩郡日の出町平井22番地10
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：3
 従業員数：89名
 車両数：35台
 活動実績：8年



トップダウンとボトムアップの両軸で進めるエコドライブ活動

代表取締役社長をトップとしたエコドライブの組織体制を構築し、企業全体でエコドライブを含む環境活動を実施。
 また、**燃費改善の取組としては車両別リーダー制度を導入**し、ドライバー主体による車両特性に合わせた燃費運転技術向上を目指す体制を整備。企業トップによる強力な推進力と、現場のドライバーも積極的に活動に参加できる仕組みを整え、トップダウンとボトムアップの両軸でエコドライブ活動を行っている。

エコドライブ活動の成果

2013年度比
1.3%燃費向上
(中型ディーゼル車)
無事故達成
(重大事故)

受賞事業者の声

弊社の取組を「優秀賞」として評価頂きまして誠にありがとうございます。今回の受賞は従業員の大きな励みとなります。今後とも安全運転・エコドライブを実践してまいります。また、エコドライブのみならず様々な取組を通じて環境保全に貢献してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

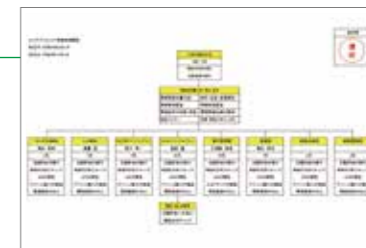
取組体制の整備	全体取組	エコドライブ推進の内容を含んだエコアクション21基本方針を策定
	体制・目標	・環境管理責任者を任命し燃料消費量などを毎月の安全衛生委員会で報告
教育の実施	環境問題	環境問題に関するeco検定の取得を推奨し、社員の36%が検定に合格
	教育資料	・独自のドライバーマニュアルを作成しエコドライブの実践を啓蒙
燃費管理	燃費管理	・日報データを運行管理課がデータ入力し車種別に燃費を集計
	燃費目標	・車種グループ別に意見を交わして、乗務員自ら目標設定
活動成果	燃費向上	・2013年度比で1.3%燃費向上(中型ディーゼル車)
	事故管理	・エコドライブ活動により事故件数が89%削減
継続実績と方策	活動実績	・「チャレンジ無事故180日」など、ドライバー参加型のイベントを開催
	エコカー等	・営業車両から運搬車両まで、低公害車を使用
	独自工夫	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備 | 評価ポイント | 企業トップが強かに牽引するエコドライブ活動

SDGsやエコアクション21に注力しエコドライブ活動を推進

持続可能な開発目標「SDGs」の取組の一環として、ゼロ・エミッションや事故ゼロを目指しエコドライブを推進。具体的な活動内容としては環境省が定めた環境経営システムに関する第三者認証・登録制度である「エコアクション21」の取組を主軸とし、代表取締役社長をトップとしたエコアクション21委員会を組織。
 企業トップがエコドライブ活動を牽引することで、環境意識の高い組織体制・企業運営を実現。



エコドライブ活動における組織図

教育の実施 | 評価ポイント | ドライバーの主体性が発揮される活動体制の構築

車両別リーダー制度でエコドライブ活動を加速

エコドライブ活動の継続により燃費を意識した運転が定着しており、燃費改善は現状維持という段階に到達。この状態からさらに活動をレベルアップさせるための施策として、車種別のエコドライブ推進リーダー制度を導入。リーダーを中心としたドライバーたちによる、車両特性に合わせたエコ運転技術の向上を追求できる取組を実施。ドライバーが主体性を持ってエコドライブ活動に参加できる体制を構築している。



車種グループ別の意見交換

活動成果と評価 | 評価ポイント | テレマティクス機器などを活用したモチベーションアップの取組

ドライバー同士が競い、教え合える活動環境を構築

テレマティクス機器の機能を活用してドライバーひとり一人の運転内容を点数化し評価。ドライバー全員の評価点数を社内に掲示することで、ドライバー同士が競い合ったり教え合ったりする文化を醸成。
 また、評価点数が低いドライバーは外部のエコドライブ講習に参加して、エコドライブの技術や知識がアップするよう工夫。さらに、講習終了後には社内の改善リーダーに任命することで、点数評価が低いドライバーのモチベーションをアップさせつつ、会社全体のレベルアップにつなげている。



運転評価順位の掲示

継続実績と方策 | 評価ポイント | 活動への貢献度を評価するインセンティブ制度

活動の成果をドライバーへ還元しモチベーションアップ

エコドライブ活動により事故件数が減少しているため、削減された保険料などを従業員に還元する取り組みを実施。また、ドライブレコーダーの動画記録を活用したヒヤリハットの申告制度があり、自己申告した場合にはインセンティブを設定している。
 その他にも、個人だけでなくチームごとの表彰制度も採用するなど、エコドライブ活動への貢献を評価しドライバーに還元する制度を整えることで、モチベーションの向上や維持のために工夫を凝らしている。

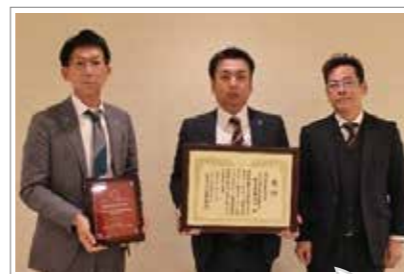


最優秀ドライバーの表彰



一般社団法人熊本県産業資源循環協会収集運搬部会

所在地：熊本県熊本市東区上南部2-1-113
 活動目的：参加企業のエコドライブ活動定着
 参加規模：80社
 活動実績：3年



受賞事業者の声
 この度は、審査委員長特別賞をいただき誠にありがとうございます。産業廃棄物処理業の中で収集運搬業はエコドライブに密接した事業と考えております。これからも交通安全やエコドライブに関する事業を行い、部会員と環境保全に寄与していきたいと思っております。

団体の概要

熊本県産業資源循環協会収集運搬部会は廃棄物の収集運搬に係る技術および制度について調査研究、啓発普及などを行い、関係者の資質向上と地域の生活環境の保全および公衆衛生の向上に寄与することを目的に設立。

産業廃棄物収集運搬業の許可を有する協会会員企業および趣旨に賛同する80社で構成されている。

部会員企業の活動を支援する研修会を開催

熊本県警察本部などと共同で交通安全やエコドライブに関する研修会を開催し、部会員企業のエコドライブ活動を支援。さらに、エコドライブに関するチラシ、リーフレット、ポスターの配布も毎年行っている。

エコドライブの支援や周知に注力し、部会員企業および各社のドライバーにエコドライブの大切さやメリットを普及する活動を実施している。



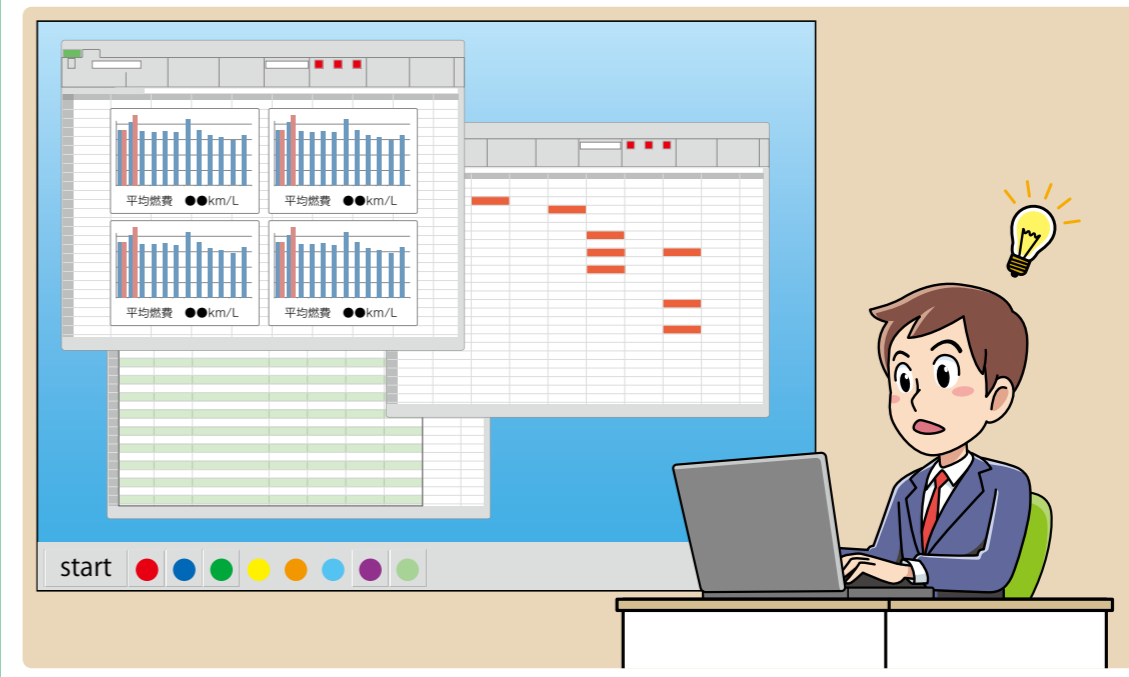
交通安全やエコドライブに関する研修会を実施

エコドライブ活動の基本取組「活動の目標と計画」のイメージ

①データを活用した目標設定と計画立案

エコドライブ活動に利用できるデータは燃費記録だけではありません。デジタルタコグラフやテレマティクス機器から収集できるデータも活用することで活動の幅を広げていくことができます。また、車両による特性やルートによる燃費への影響なども把握することで、ドライバーに対して具体的な指導が可能になります。

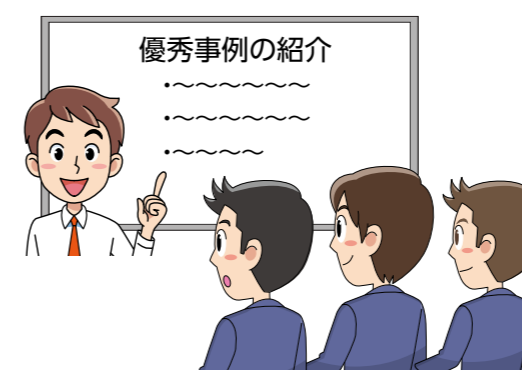
様々なデータを分析・活用することによって、より詳細な計画立案やドライバー全員が納得できる燃費目標の設定などが可能となり、会社一丸となって活動に取り組むことができます。



②営業所での競争意識と情報共有

エコドライブ活動を活性化させるにはトップダウンによる強力な推進力と、現場からの意見などを吸い上げるボトムアップの仕組みの整備が大切です。燃費の目標設定をドライバーに任せたり、活動の工夫に関して裁量を与えたりすることで積極的な活動参加を促します。

現場のモチベーションが高まることで取組に創意工夫が生まれ、優秀な取組は全社に共有することで会社全体の活動内容がレベルアップしていきます。



取組の工夫を全社に共有



社内で切磋琢磨する仕組みを設定



2018年度からエコドライブコンテストを実施

エコドライブ診断機器を活用したコンテストの実施

2018年度からエコドライブ活動を実践できる体制構築のため、NPO法人くまもと温暖化対策センターと連携してエコドライブコンテストを開始。

部会員企業にエコドライブ診断機器を貸出、効果や運転方法を体験してもらうとともに、改善点などを伝えることで参加企業のエコドライブ活動定着を目指している。

また、参加者に対してアンケートを実施し、各社の工夫(アイドリングストップの徹底、走行計画の改善など)や今後の取り組みを調査。集計後、エコドライブ活動の参考資料として集計結果を配布している。

協会会報誌を活用したエコドライブ活動の情報共有

当部会におけるエコドライブ活動について、協会会報誌を通じて紹介。研修会の内容やエコドライブコンテストの結果などを掲載している。

協会会報誌を活用してエコドライブに関する情報を発信していくことで、部会員企業だけでなく一般社団法人熊本県産業資源循環協会のエコドライブ普及推進に努めている。



協会会報誌や協会ホームページでエコドライブ活動を紹介

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介

(都道府県順)

上位受賞事業者以外の、参考となるような取組事例を紹介します。

▶ 営業所オリジナルの添乗指導シート

株式会社エネックス

東北支店 青森営業所

事業部門

東北支店 青森営業所オリジナルのエコドライブ添乗指導シートを作成し、燃費改善に向けた教育を実施。「点検・その他」「発進」「走行」「減速」「停止」という

項目ごとに添乗指導員が診断。不合格の項目がある場合は指導後に再度診断を行い、ドライバーの運転行動などが改善されているか確認を行っている。

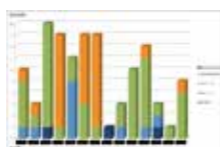


▶ テレマティクスデータを活用してドライバーコンテスト実施

昭和産業株式会社

一般部門

毎日の危険感知データを月末に集計して部署ごとにグラフ化し、インシデント回数が多い社員に対しては教習所での講習の受講を促すなど対策を実施。また、テレマティクスデータで競う全拠点参加のセーフティドライバーコンテストを開催。コンテスト開催翌年から交通事故の減少効果を確認。



▶ DXによる業務効率化とエコ・安全教育

北本運輸株式会社

本社営業所

事業部門

優良認定証

自社で独自のスマートフォンアプリを開発。ドライバーは事故データや燃費データ、配送先情報や車両の位置情報までスマートフォンで簡単に確認可能。このアプリを利用することで、走行距離、待機時間、残業時間などが短縮されCO2排出量の削減を実現した。



▶ 運転技能自動評価システムを活用

株式会社中田商事

本社営業所

事業部門

優良賞

地元自動車学校と連携し、運転技能自動評価システムを活用した安全研修を開催。危険回避運転達成度をシステムで計測し、交通心理士が結果に基づいたカウンセリングを実施。ベテランドライバーも結果データとともにカウンセリングを受けることで「あの一時停止は完全に止まれているのか」などの細かな気づきを得られている。



▶ 地域貢献を軸にしたCSR・SDGsの活動

有限会社裕進運輸

事業部門

優良認定証

SDGsに則った行動指針をグループ全体で推進し、エコドライブ活動を実施。また、CSR活動として地域の子供たちへの安全運転啓蒙活動やボランティア活動への参加等も行い、ドライバーのエコ意識や安全意識の向上を図っている。



▶ デジタコ情報の有効活用による「見える化」

坪本運送株式会社

事業部門

優良賞

全車搭載デジタコ情報を有効活用。燃費改善状況を社内専門家が統計分析し、社員専用ホームページで結果を共有。ドライバー自身の実力と燃費改善努力の「見える化」を実現した。また、高速道路利用による燃費向上とコストの分析という独自の分析を実施する等、データの更なる活用にも取り組んでいる。

